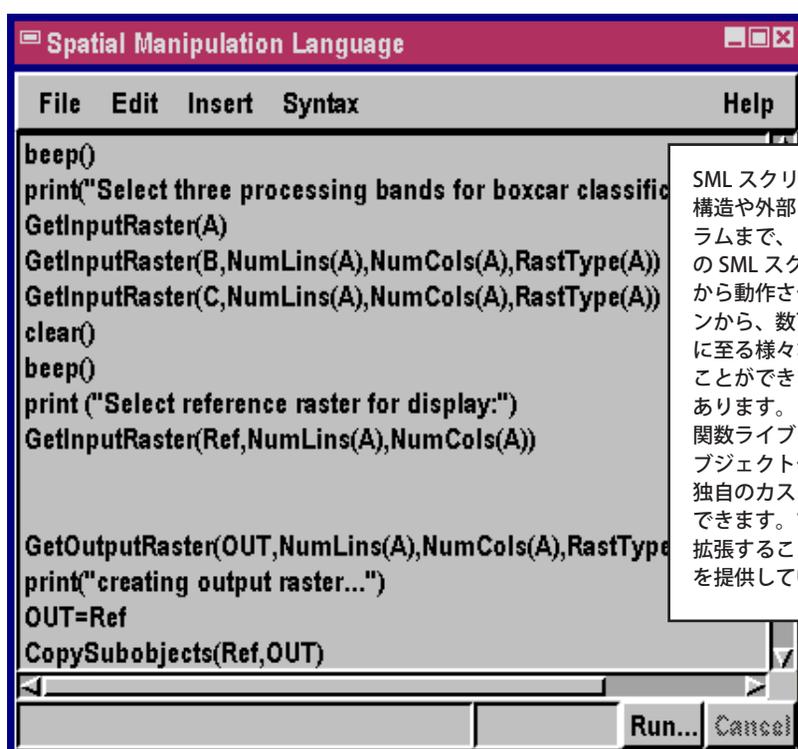


SML スクリプト

ご存知でしたか?... SML スクリプトを書くことで自分の目的に合った機能やツールを追加できます。

SML スクリプトによって...

- ユーザー一人ひとりの特別なニーズに合わせてカスタムの処理ルーチンを構築できます。
 - 一般的なアプリケーションに特化した製品を構築することが出来ます。
 - 地理データとスクリプトを一緒にバンドルして、配布することが出来ます (アプリダット)。
 - 自分専用のアイコンボタンやツールバーから起動する対話的ツールを作成できます。
 - プロトタイプの構築やテストの際は、オンラインドキュメントやヘルプを参照できます。
- SML の技法は、スタンドアロンのスクリプトやクエリ、ジオフォーミュラ、カートスクリプト、バンドルした SML アプリケーション、カスタムの押しボタンツールに適用できます。



SML スクリプトは、一行の記述から、ネストした論理的な分岐構造や外部プログラムの呼び出しを持った長い構造的なプログラムまで、どんな形態でも可能です。マイクロイメージ社は沢山の SML スクリプトのサンプルを提供しており、ユーザはその中から動作させるモデルを得ることができます。単純な処理ルーチンから、数百行のコードを含む複雑なカスタムアプリケーションに至る様々なスクリプトを調べて自分のスクリプトに適用することができます。SML の真の価値は、豊富な関数ライブラリにあります。

関数ライブラリを使って、ユーザのプロジェクトファイル中のオブジェクトやサブオブジェクトにアクセスすることで、ユーザ独自のカスタムツールや特殊な地理データ解析ルーチンを作成できます。マイクロイメージ社は絶えず、SML 関数を機能強化・拡張することで、ユーザの地理空間データを処理する多くの手段を提供しています。

SML スクリプトの利用方法

- 任意のテキストエディタを使ってユーザのスクリプト (*.sml) を作成します。
- プロジェクトファイルへのアクセスや表示、ユーザ入力、データベースアクセス、地理空間データ解析のための関数を含めます。
- SML 関数、文法チェックに際してはオンラインヘルプを参照します。
- シンタックスチェッカーや SML デバッガを使って間違いを見つけ、訂正します。
- SML 処理またはカスタムメニューやツールバーから SML スクリプトを実行します。
- ユーザのデスクトップやカスタムツールバーのアイコンから地理データとバンドルしたスタンドアロンのアプリケーションを実行します (アプリダット)。
- SML によって動的に作成される地理データレイヤを表示に追加します。
- TNT のインターフェースに押しボタン式のアイコンを追加してカスタムツールとして登録します。

さらに知りたいことがあれば...

下記の入門書をご覧ください。

SML スクリプト
(Writing Scripts with SML)

(翻訳) 株式会社 オープン GIS
東京都墨田区吾妻橋 1-19-14
紀伊国屋ビル 1F
Tel: (03)3623-2851
Fax: (03)3623-3025
E-mail: info@opengis.co.jp

